

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 広島市立幟町小学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒730-0016
広島市中区幟町3-10

E-mail : nobori@e.city.hiroshima.jp

Website : _____

児童生徒数：男子 276名 女子 246名 合計 522名
 児童・生徒の年齢 6歳～12歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1 ねらい

持続可能な社会づくりのために、平和の担い手となる子どもを育てる

2 活動報告の構成

- (1) 「幟町小学校キャリア支援プラン」について
- (2) 「幟町小学校ESDカレンダー」について
- (3) 「平成26年度幟町小学校研究構想」について
- (4) 「第4学年の取組」について
 - ① 目標と年間計画
 - ② 学年ESDカレンダー
 - ③ 環境学習
 - ④ 平和学習
- (5) 「成果と課題」について
- (6) 来年度に向けて

3 活動報告

(1) 「幟町小学校キャリア支援プラン」について・・・・・・・・・・資料1

本校では、持続可能な開発のために教育の実現に向けて、6年間の発達段階を踏まえた「キャリア支援プラン」を作成し、「ルールを守って、上手にかかわり、命を守ろう！」を合言葉に教育活動を推進しています。

このキャリア支援プランについては、年度初めに職員研修を行うと共に、PTA総会や学級懇談会でも保護者に説明し、共通理解を図っています。

① 「幟町小学校キャリア支援プラン」のねらい

ア 小学校で既に取り組んでいる6年間の様々な分野における「学びの累積」を社会へ繋がる「キャリア」として捉え、児童一人一人に定着するよう支援する。

イ 子育てにかかわる人々に、子どもが6年間で学びを累積していく過程を、発達段階と照らし合わせて示し、保護者や地域の方々の協力を得る。

ウ 子ども自身が、自己の成長を振り返り、学びのねらいを見いだす手がかりとなるようにし、個々の自立を支援する。

② 幟町小学校キャリア支援プラン「ルール」・・・・・・・・・・資料2

6年間の学びの系統性の中で、ルールやマナーを守って生活できる子どもを育てます。

③ 幟町小学校キャリア支援プラン「いのち」・・・・・・・・・・資料3

6年間の学びの系統性の中で、平和を愛し、命を大切にする子どもを育てます。

④ 幟町小学校キャリア支援プラン「かかわり・地域への発信」・資料4

6年間の学びの系統性の中で、進んでかかわり、共に高まり合う子どもを育てます。

- (2) 「幟町小学校ESDカレンダー」について・・・・・・・・・・資料5
 「幟町小学校キャリア支援プラン」をもとに、本校では、各部の部長と協力しながら研究推進部が学校全体のESDカレンダーを作成し、「ルール、いのち、かかわり」を意識した年間計画を作成しています。
- ① 幟町小学校ESDカレンダー「ルール」・・・・・・・・・・資料6
 ルールを守ることの心地よさを感じて、落ち着いた環境のもとに学習したり生活したりすることを目指しています。
- ② 幟町小学校ESDカレンダー「いのち」・・・・・・・・・・資料7
 学校行事だけではなく、各部・各学年が、いつごろ、どんなことに重点を置いて指導すれば良いかを項目で示しています。
- ③ 幟町小学校ESDカレンダー「かかわり」・・・・・・・・・・資料8
 これを作成する際には、横の成熟度はもちろんのこと、縦のつながりも意識しています。
- (3) 「平成26年度幟町小学校研究構想」について・・・・・・・・・・資料9
 本校では、「思いやりの心をもつ、たくましい子どもの育成」という学校教育目標を達成するために、今年度は、「意欲的に学び、高まり会う子どもを育てる」という研究主題のもと、各学年の目指す子ども像を明確にして、研究をスタートしました。ESDカレンダーについては、「思いやりの心を育てる幟プログラム」とし、その実践を通して、児童の自主的・主体的活動と教員や児童による「意味付け・価値付け」を重視して、今年度は「してもされてもうれしいこと」を増やすことを目標に、研究を重ねてきました。
- ① 楽しい幟町小学校にするために・・・・・・・・・・資料10
 本校では、いじめを無くし、思いやりの心を育てるために、「楽しい幟町小学校にするために」という具体的行動規範を児童に示して指導に当たり、年間2回のアンケート調査により、研究の成果をはかっています。昨年度は、思いやりの心を育てるために、「してもされてもいやなこと」「悪口・暴力・いやがらせ」を減らすことを目標に取り組み、十分な成果を上げました。
 今年度は、「してもされてもうれしいこと」「言葉・親切・仲間づくり」が増えるよう、子どもたちの言動に機を逃さず意味付けや価値付けを行ってきました。こちらも十分な成果を上げました。
- (4) 「第4学年の取組」について
 以上の、全体計画をもとに、具体的な学年の取り組みを、第4学年を例にとって紹介します。
- ① 目標と年間計画・・・・・・・・・・資料11
 今年度は、「ルール」で主に環境学習を、「いのち」で本校の卒業生である佐々木禎子さん(原爆の子の像のモデル)の学習を通して平和学習を、「かかわり」でライフスキル教育を進めていきました。
- ② 学年ESDカレンダー・・・・・・・・・・資料12
 本校では、行事や教科、領域の学習を縦や横のつながりだけではなく、道徳教育も意識して整理しています。
- 学年ESDカレンダー2・・・・・・・・・・資料13
 学年ESDカレンダーの中から、3つの柱となる取り組みを取りだして作ったものです。他教科や領域の学習とのつながりを意識して作成し

ています。

③環境学習

ア ねらい

- ・環境を守るためのルールを知り、それを守ろうとする。
- ・自分たちの暮らしを支える仕事について知り、他者意識を高める。
- ・環境やエネルギーの問題を、他人事ではなく我が事としてとらえ、自分にできることを考えて実践する。

イ 環境学習ESDカレンダー・・・・・・・・・・・・・・・・資料14
行事や教科、領域の学習を、「気付く→考える→発信する」という3段階で整理しました。

ウ 社会科「わたしたちのくらしとごみ」(14h)

- ・この学習で子どもたちは、ごみの量や分別の重要性などを学習し、地域で暮らす一人として、環境を守りたい、守らなければならないということに気付きました。

エ 運動会の短距離走「幟っ子リサイクルセンター」

- ・社会科で学んだごみの分別を、運動会の短距離走の種目に取り入れました。土嚢袋に入っている3つのごみを、7種類に分類するという競技をしました。

オ 西部リサイクルプラザの見学・・・・・・・・・・・・・・・・資料15

- ・さらに環境について考えることができるように、リサイクルプラザの見学をしました。
- ・運動会で自分たちが分別したことと、リサイクルプラザで働いている方の分別の早さと正確さに驚きました。

カ 中工場(ごみ焼却施設)の見学

- ・可燃ごみの処理についてより深く理解するために見学しました。
- ・「かかわり」で取り組んでいるライフスキルの一つとして「聞き方」のスキル学習をして臨みました。

キ 環境学習出前授業「ハンバーガーから地球が見える」・・資料16

- ・環境関連会社の方をゲストティーチャーとしてお招きし、ごみやエネルギー問題について学びました。
- ・この学習を通して、これまで工場の方々のためにごみを減らしたい、資源を大切にしたいと考えていた児童が、他人事ではなく自分たちのために活動しなければならないと考えるようになりました。

ク 環境新聞づくり・・・・・・・・・・・・・・・・資料17

- ・見学を通して感じたり、考えたりしたことを絵や図を入れながら、自分の言葉で表現しました。

ケ 子どもエコチャレンジシート

- ・広島市から配付されるチャレンジシート(チェックリスト)を使って、環境を守るための取り組みを2週間行いました。

コ エコ絵日記(夏休みの課題)・・・・・・・・・・・・・・・・資料18

- ・自分たちの取り組みを絵日記にしました。一番多かったのが「節電」、そのほかには、買い物にマイバッグを持って行く、お家の人と一緒に冷蔵庫に保冷カーテンを取り付けた、トイレのタンクにペットボトルを入れた等、保護者を巻き込んだ取組になりました。

サ 環境に関する係活動

- ・ 工作会社 → トレイや空き容器などを使ってみんなで楽しく工作をする。
- ・ 植物会社 → 植物を観察したり、調べたりして、分かったことをみんなに伝える。
- ・ ピカピカかんきょう会社
→ 自分たちの教室や学校の環境を守る環境を考え、実践したり、みんなに伝えたりする。

④ 平和学習

ア ねらい

- ・ 佐々木禎子さんの生涯について調べ、戦争の悲惨さや命の尊さについて学ぶ。
- ・ 佐々木禎子さんの後輩として、自分たちの生活を振り返る。
- ・ 平和な世界を築くために自分にできることを考えて実践する。

イ 平和学習 ESD カレンダー・・・・・・・・・・資料 19

- ・ 総合的な学習の時間、他教科や領域、行事のつながりを大切にしなが
ら、「気付く→考える→発信する」という3段階で整理しました。

ウ 総合的な学習の時間「平和学習」(8h)

- ・ 佐々木禎子さん生涯について調べよう
- ・ 平和記念公園を見学しよう・・・・・・・・・・資料 20
- ・ 平和新聞を作ろう・・・・・・・・・・資料 21

エ 総合的な学習の時間「平和ノート」(3h)

- ・ フラワーフェスティバルにこめた願い
- ・ 広島ひばくと人々の願い
- ・ 残したいもの、伝えたいもの

オ 社会科「残したいもの、伝えたいもの」(8h)・・・・・・・・資料 22

- ・ 原爆ドームや原爆の子の像にこめられた願い
- ・ 平和の願いをこめたお祭りや行事

カ 総合的な学習の時間「佐々木禎子さんから学ぼう」(20h)

- ・ グループ新聞を作って発表しよう・・・・・・・・資料 23
- ・ 佐々木禎子さんと同じ大きさの鶴を作ろう・・・・・・・・資料 24、25
- ・ コスモス集会やふれあい参観日で地域に発信しよう

(5) 「成果と課題」について

① 成果

- ア キャリア支援プランに基づいた ESD カレンダーの作成により、6年間の系統性を踏まえた取組や指導が可能になりました。
- イ 6年間の系統的な取組や指導が、高学年のリーダー育成につながり、学校の雰囲気やよいものとし、学校としての成長が見られつつあります。
- ウ 行事が単発に終わるのではなく、つながりが生まれ、より充実した活動になっています。

② 課題

- ア 学校としてのベクトルは揃っているが、学年によってその捉えに温度差があります。

(6) 来年度に向けて

- キャリア支援プランに基づいた ESD カレンダーにより、6年間で

育てる子ども像を全教職員が共有し、平和の担い手となる子どもを育てることを、学校として足並みを揃えて実践していきます。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（）